

じんけん探訪 92

同和問題

（全国水平社創立100周年を迎えて）

法務省のホームページには、「部落差別（同和問題）」は、日本社会の歴史的過程で形作られた身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれることを強いられたことなどを理由に結婚を反対されたり、就職などの日常生活の上で差別を受けたりするなどしている我が国固有の人権問題である」と記述されています。

「解放令（太政官布告）」から50年後

1871年に身分制度が廃止されましたが、差別は依然として残っています。そこで、京都の岡崎公会堂において、1922年3月3日に人間としての平等を願い、自分たちの力で差別からの解放をめざす運動を進める「全国水平社」が創立されました。その創立大会で採択された『水平社宣言』は、差別に苦しむ当事者自身が声を上げ、社会を変えようとする日本初の人権宣言ともいわれています。

2022年3月3日、「全国水平社」は創立から100年となりました。水平社は、全ての人があらゆる差別を受けることなく、人間らしく暮らしていける社会の実現をめざしています。

この節目に当時の人々の思いや願いを想像しながら、真に人権が尊重される豊かな社会を作るためには、どうしたらよいか考えてみましょう。



2017年に市が実施した人権・同和問題についての意識調査から

同和行政への批判や地区関係者の言動に対する批判などの「部落責任論」が自由意見にありますが、そもそも部落差別は、居住地を理由にした不当な人権侵害です。そして、同和地区以外でも問題行動を起こす人はいますが、客観的に見えなくなると「部落責任論」になってしまいます。

また、「自然解消論（寝た子を起さすな意識）」や「部落分散論」、「差別解消不可能論」など、多様な意見が散見されます。このような意見・意識は、同和教育や同和行政を否定する結論になります。その理由として、これらの意見は迷信や俗説に基づくものであり、間違った認識です。さらに、社会意識として存在する社会問題なので、自然には解消しません。意識（自覚）を変革する教育や啓発によってのみ解消されます。

正しい理解が解決につながる

解放令以後、50年間「そっとしておいた」ことで差別はさらに厳しくなりました。その結果、政府が先頭になって法整備をする中で、差別解消に向けて取り組んできた経緯があります。

社会意識に取り込まれている私たちは、迷信（ケガレ思想）に惑わされて差別することの間違いに気付くべきです。他人事と考えている人は差別を容認していることになり、ぜひ、自らの意識に潜む差別意識と向き合い、解放されるよう学びの機会を大切にしたいと考えています。

▼問い合わせ 人権課 ☎73・3008

いきいき長生き！健康づくりのポイント 夏本番に向けて夏バテを予防しよう！

No.3

▶問い合わせ 地域包括支援センター ☎73-3021

いよいよ夏本番！暑い日が続くと、疲れが抜けにくく、食欲がわかなくなることはありませんか？これといった病気ではないのに、身体の不調が続いてしまう…。これはいわゆる「夏バテ」の状態です。暑さはまだまだ続くので、夏バテ対策をしっかり行いましょう。

夏バテを防ぐ生活習慣

1 こまめに水分補給をする

喉の渇きを感じなくても、こまめに水分補給する。1日当たり1.2ℓが目安。汗を多くかいたときは、スポーツ飲料や塩分の摂取も大切。



2 温度差、体の冷やし過ぎに注意する

エアコンの風が直接当たらないようにして、寒さを感じたら衣服やひざ掛けなどで調整する。



3 ぐっすり寝て その日の疲れをとる

疲れをためないことが大切です。起きてすぐ朝日を浴び、朝食を摂ることで、体内時計をリセットし、リズムを整える。



4 1日3食、栄養バランスを心掛ける

暑さで疲れやすく、汗でミネラルを失いがちの体にはたっぷりの栄養が必要です。<あっさりとした食事にプラスして摂ってほしい栄養素>

- ・ビタミンB1：糖質をエネルギーに変えて疲れにくくする。豚肉やウナギに多く含まれる。
・アリシン：ビタミンB1の吸収を高める。たまねぎやニンニク、ネギなどの匂いの成分に含まれる。
・ビタミンC：暑さにより消費され、不足すると疲れやすくなったり、風邪をひきやすくなる。
・タンパク質：筋肉の疲労を回復させる効果がある。鶏肉、豚肉、大豆製品に多く含まれる。

タンパク質は、筋力や体づくりに大きく影響します。タンパク質が不足すると特に高齢者は筋肉が衰え、フレイル（虚弱）の原因になります。しっかり摂りましょう。

参考資料：厚生労働省熱中症予防チラシ、全国健康保険協会ホームページ

産直歩き Vol.8

旬の果物がずらっと並ぶ！ 中山間部の寒暖差を活かした農作物が魅力！

JAふる里フレッシュあさの市は、高瀬町下麻の県道23号沿いにある農産物直売所です。地元農家さんを中心に約250人が出荷しており、店頭には旬の果物、野菜や花がたくさん並んでいます。

年間約12万人ものお客さんが訪れるという人気の直売所。「地元の特産物である旬の果物がたくさん並ぶのが、あさの市の自慢です。店内では加工品も扱っており、地元の仕出し屋さんで作った総菜が地元の人たちに人気です」と話してくれたのは、所長の安部健吾さん。

店内に入ってすぐの果物コーナーには地元の桃が多く並び、8～9月にかけて、これから旬を迎えるぶどうや梨が所狭しと並び予定です。

四季折々の農作物を楽しむことができるすてきな産直市に、ぜひいらしてください。

JAふる里フレッシュあさの市



<営業日> 毎日（第1・3火曜日定休） 午前7時30分～午後4時 <問い合わせ> ☎74-6799



①今が旬の桃がたくさん並びます②寒暖差を活かして作られた野菜③焼き魚や揚げ物が並び、大人気の総菜コーナー④地元で育てられた色とりどりの切り花コーナー

▶問い合わせ 農林水産課 ☎73-3040

コミュニティバスにゆ〜す15
バスロケーションシステム「バス予報」
バス停の時刻表デザインが新しくなりました